※令和４年度以降入学生用

学校番号	3016

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	わたしたちの地理総合　改訂版（山川出版社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・広い視野を持ちながら、様々な資料に触れ、活用し、地理的な見方や考え方の涵養をはかる。
・グローバル化の第一歩として、現代世界の地理的認識・文化的背景の基本的事柄に対する理解を深め、積極的に学びを進める。あらゆる地理的事象に対して、多様な角度から考察し、国際社会に生じる変化を適切に学び取っていく。

２　学習の到達目標

(1) 考察・選択・判断のための手掛かりとなる概念・理論を理解し、諸資料から必要な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
(2) 地理に関わる諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、議論する力を養う。
(3) 地理に関する広い視野を持つことをめざして自ら学び、地理に関する諸課題解決に主体的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	球面上の世界と地図の活用	1.球面上の世界と地図 2.時差と生活 3.世界地図でとらえる地球 4.国家の領域と海洋の役割 5.日本の位置と領域 6.身のまわりのさまざまな地図 7.地図とGIS	a:地球を球面として捉え，球面上の位置・方位・距離について正しく認識し，季節・気候を生み出す要因を理解している。地図や地理情報システムなどを用いて，地理空間情報の役割や有用性について理解し，地図化している。 b: 球体である地球上での位置・方位・距離を正しく読み取っている。さまざまな地図や地理情報システムの特性を理解し，使用目的に応じて適切に表現している。 c: 球体としての地球を把握し，さまざまな図法による世界地図の理解に向けて，作業などに意欲的に取り組もうとしている。身の回りのさまざまな地図に興味を持ち，積極的に活用しようとしている。	確認テスト 定期考査	確認テスト ワークシート 定期考査	観察 ノート提出 振り返りシート
	国家間の結びつき	1.国家群による結びつき 2.貿易による結びつき 3.交通･通信による結びつき 4.観光による結びつき	a:外国で暮らす日本人や歴史的背景を通して，日本と諸外国との関係を理解している。貿易・物流，交通・通信，観光を通した外国との結びつきの特徴や変化を捉え，日本と世界各国の結びつきを理解している。 b:国家間のつながりに影響する事象について目的別に整理し，さらに世界の地域経済圏や国際連合の視点から国際関係を整理・考察している。 c:国内や国家間のつながりに影響する事象について，自ら視点を設定して，多面的に考察しようとしている。交通や通信の発達，観光政策，世界貿易に関する地球規模の課題について多面的・多角的に考察し，自分なりの意見をまとめようとしている。	確認テスト 定期考査	確認テスト ワークシート 定期考査	観察 ノート提出 振り返りシート
	自然環境と生活文化	1.地球上の地形のなりたち 2.3.山地と平野/海岸部の生活 4.地球上の気候のなりたち 5.暑い気候 6.乾燥した気候 7.季節の違い 8.寒冷な気候	a: 地形や気候のなりたちに関する知識を身につけ，それぞれの地理的事象について世界的な視野から読み取っている。ケッペンの気候区分と植生分布の関連性を理解し，自然環境が人々の生活文化や産業，伝統の形成などに深く関わり，また諸要素が相互に関連しあっていることを理解している。 b: 地形や気候のなりたちについて，プレートテクトニクスや大気大循環，海洋分布などと関連づけながら，成因と分布の特徴を	確認テスト 定期考査	確認テスト 定期考査 ワークシート	観察 ノート提出 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

			世界的視野から考察している。ケッペンの気候区分から各気候分布の規則性を捉え，生活文化との関連性を比較しながら共通点や相違点を考察し，整理して表現している。 c：世界の地形・気候のなりたちと生活文化・産業との関わりについて，興味・関心を持って授業に臨もうとしている。地形図や雨温図，主題図，写真，グラフ，統計資料などを理解するだけでなく，自ら表現することに意欲的に取り組もうとしている。			
２学期 ２学期	言語・宗教と生活文化	1.世界の宗教 2.仏教圏の生活文化 3.キリスト教圏の生活文化 4.5 イスラーム圏の生活文化 6.世界の言語 7.植民の歴史 8.多文化共生	a：世界の言語・宗教の特徴を理解し，生活文化との関係を読み取っている。世界の言語や宗教，民族に関わる現代社会の諸課題の背景や現状を概観している。 b：世界の言語・宗教の空間的な分布とその要因を考察し，自然環境や歴史的背景と関連させて考察している。世界の言語や宗教，民族に関わる現代世界の諸課題がおこっている複雑な背景を構造的に考察している。 c：世界の言語・宗教の多様性と生活文化の関わりについて，興味・関心を持って積極的に調べようとしている。世界の言語や宗教，民族に関わる現代世界の諸課題について，日本との関わりも考えながら主体的に捉えようとしている。	確認テスト 定期考査	確認テスト ワークシート 定期考査	観察 ノート提出 振り返りシート
	産業の発展と生活文化	1.農業の地域性 2.農業　南アジア 3.工業の発展 4.5.経済成長　中国 6.工業の発展　東南アジア 7.脱工業化　韓国	a：世界の産業の特徴を捉え，分布や変化を概観している。アジア各地の事例地域の学習を通して主題図や写真，グラフなどの資料から経済活動の発展を読み取っている。 b：世界の産業の特徴を地域ごとに比較し，自然環境や生活文化との関連性を考察している。アジア各地の事例地域の学習を通して，経済活動の発展とグローバル化を複数の資料から動態的に捉え，立地なども関連させながら多角的に考察しまとめている。 c：身近な商品がグローバル化の進む産業構造の中に位置づけられることを捉え，産業と自分との関わりについて意欲的に探究しようとしている。複雑化する世界規模の産業構造を捉えようと試み，複数の資料から主体的に考察し，発表しようとしている。	確認テスト 定期考査	確認テスト ワークシート 定期考査	観察 ノート提出 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	グローバル化の進展と生活文化	1〜3 グローバル化 アメリカ 4〜6 地域統合 EU	a:アメリカ建国時から多様性を育んできた地理的環境・歴史的背景を理解している。EU統合の背景と産業や生活文化への影響，統合によって生じている経済格差や移民問題などの諸課題を理解している。 b:グローバル社会で世界をリードする産業の発展と企業の国際化の過程を捉え，アメリカの変容，日本とのつながりについて考察し，まとめている。ヨーロッパ各国の国家としてのあり方の変容，EU と日本のつながりからグローバル化の功罪について考察している。 c:EU やアメリカの事例を通して，地域統合やグローバル化の課題について主体的に考察しようとしている。グローバル化が自分の生活と繋がっていることを踏まえて，グローバル社会に対する自分なりの意見を持とうとしている。	確認テスト 定期考査	確認テスト ワークシート 定期考査	観察 ノート提出 振り返りシート
	人口問題	1.世界の人口問題 2.自然増減 インドとスウェーデン 3.人の移動と難民問題 4.少子高齢化と人口減少 日本	a: 世界人口の急増によって生じる問題を世界的視野から理解できる。持続可能な発展のために，飢餓や飢饉などの食料問題と人口問題を関連させて理解できる。 b: 世界の人口問題の特徴や分布を，人口ピラミッドや主題図などの資料から比較・分類しながら整理し，考察できる。飢餓や飢饉がある一方，食品ロスなどの飽食も存在している問題を構造的に捉え，SDGs の目標ふまえて世界的視野から対策を考察することができる。 c: 人口に関わる世界の諸問題について，その背景や構造を捉え，主体的に考察できる。食料問題が世界規模でつながる地球的課題であることを捉え，国際社会の一員として具体的に行動に写そうとしている。	確認テスト 定期考査	確認テスト 定期考査 ワークシート	観察 ノート提出 振り返りシート
	食料問題	1.世界の食料問題 2.世界の水問題 3.食料不足 アフリカ	a: 持続可能な発展のために，飢餓や飢饉などの食料問題と人口問題を関連させて理解している。 b: 飢餓や飢饉がある一方，食品ロスなどの飽食も存在している問題を構造的に捉え，SDGs の目標ふまえて世界的視野から対策を考察している。 c: 食料問題が世界規模でつながる地球的課題であることを捉え，国際社会の一員として具体的に行動に移そうとしている。	確認テスト 定期考査	確認テスト ワークシート 定期考査	観察 ノート提出 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	居住・都市問題	1.世界の居住･都市問題 2.密集都市　メキシコシティ･ジャカルタ 3.大都市　ロンドン･ニューヨーク	a：都市に人口が集中する要因を主題図や統計資料から読み取るとともに，人口集中による都市問題について理解している。途上国と先進国では異なる都市問題が発生していることを，主題図や写真などから判読している。 b：農村部から都市への人口移動を主題図や統計資料から捉え，地域レベルから世界レベルまで，さまざまなスケールで考察している。途上国と先進国それぞれの都市問題について，その構造的要因を考察している。 c：人口移動による都市の人口過密がさまざまな課題と結びついていることを理解し，自らの視点を大切にしながら主体的に考察しようとしている。都市問題に関する資料を自ら収集・整理し，問いを立てながら意欲的に考察しようとしている。	確認テスト 定期考査	確認テスト 定期考査 ワークシート	観察 ノート提出 振り返りシート
３学期	資源・エネルギー問題	1.エネルギー資源の産出･消費と課題 2.鉱物資源　南ア･オーストラリア 3.再生可能エネルギー	a：エネルギー資源の変化を世界的な視野から概観し，主題図や統計資料をもとに，鉱産資源の偏在性，有限性，消費における地域格差などの諸課題を読み取っている。 b：鉱産資源とエネルギー資源の分布と将来的な需要について，主題図や統計資料などをもとに予測し，世界的な視野から国際協力や技術開発を推進する必要性について考察している。 c：エネルギー資源の問題が，自然環境・政治・経済・国際関係などと幅広く関連していることを理解し，世界的な視野からSDGsを達成するために主体的に考察しようとしている。	確認テスト 定期考査	確認テスト ワークシート 定期考査	観察 ノート提出 振り返りシート
	地球環境問題	1.地球温暖化 2.熱帯林の減少　アマゾン･東南アジア 3.砂漠化の進行　サヘル･アラル海	a：地球温暖化・熱帯林減少・砂漠化など，地球規模でおこっている環境問題のしくみを構造的に理解している。 b：地球環境を守り持続可能な発展を実現するために，国際的な協力体制が必要なだけでなく，その背後にある政治・経済的な課題解決も求められることを考察している。 c：地球規模の環境問題の構造や原因の理解とともに，地球市民の一人として，それらの問題が人々の生活に与える影響につ	確認テスト 定期考査	確認テスト 定期考査 ワークシート	観察 ノート提出 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

			いて意欲的に学び，自分のできることを探究しようとしている。			
	自然環境と防災	1.2.日本の地形・気候 3～5.気象災害/火山/地震・津波と防災 6.都市特有の災害と防災 7.防災・減災への心構え	a: 日本列島の地形や気候の成り立ちと多様性について，主題図やグラフ，写真などの資料から理解している。 b: 日本列島における自然災害の要因と特徴，地域性を考察し，課題の所在について考察している。 c: 日本の自然環境と災害の特徴とつながりについて当事者として関心をもち，防災意識を高めようとしている。	確認テスト 定期考査	確認テスト ワークシート 定期考査	観察 ノート提出 振り返りシート
	持続可能な地域づくり	1.生活圏の課題の発見 2～4.地域調査　尾鷲	a: 生活圏の課題を解決するための手法としての地域調査を実施し，身近な地域の魅力やかかえている課題を発見している。 b:調査結果や統計ツール，新旧地形図やデジタル地図，各種資料などによって得られた結果を主題図やグラフにまとめ，地域の課題の要因を多面的・多角的な視点から，考察している。 c:身近な地域にさまざまな魅力や課題があることを見い出し，意欲的に地域調査に取り組もうとしている。	確認テスト 定期考査	確認テスト 定期考査 ワークシート	観察 ノート提出 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度